

車椅子児童の指定校変更を問う



西銘 多紀子 議員

答 地域の指定校で対応する



問 車椅子児童の指定校変更を問う。指定区域の学校は坂や階段が多く無理があるため指定校変更を申し出ているができない。

他市町村の変更基準と比較すると本町は心身的理由という項目がないがなぜか。

学校教育課長 配慮できることを提案し受け入れる。積極的に児童生徒を受け入れる姿勢であるため、地域の指定校で対応していく。

問 合理的配慮(※)義務が必要と考えるがどうか。

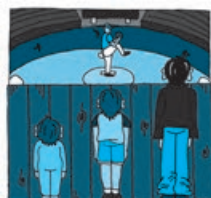
学校教育課長 その地域で受け入れる考えであるため代替案や町でできる最大限のことを提案していく。その上で保護者と対話し最終的にどうするかを判断をする。

問 本町の考えるインクルーシブ教育とは何か。

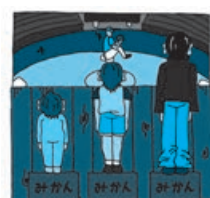
学校教育課長 共生社会を目指した障がいの有無に関わらず共に生きていくための環境、資質、能力を育てていくという捉え方である。



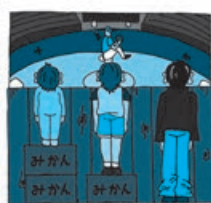
※合理的配慮を考える 障害の子ども達の障壁を視覚化したら



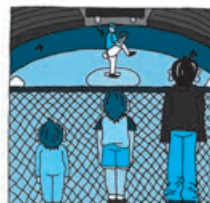
配慮が何もない状態



平等ではあるけれど左の子はまだ見れない



公正さが担保されて全員が試合を観られる!



環境を変えれば、ハンディキャップは生じない!

畜産業の支援を問う

問 畜産業の厳しい状況に対し町として新年度からどのような支援を考えているのか伺う。

副町長 令和6年度南風原町一般会計予算において、家畜の予防接種に係る医薬材料費、家畜総合対策補助金、和牛改良支援補助金を提案している。

問 沖縄県議会でも多くの議員がとりあげ経済労働委員会では畜産業の経済強化支援に関する請願書が全会一致で採択された。本町の畜産農家も沖縄県知事へ要望書を手渡し農林水産部長との対話も行った。国、県の動向を注視して、町独自で何ができるか考えてほしいがどうか。

産業振興課長 畜産業の現状や国、県及び他市町村の補助の動向を調査し確認しているところであり現時点では明確に答えることができない。

高齢者の外出支援を問う

問 高齢者の外出支援はどのようなものがあるか。

副町長 リフト付き車両を使い自宅と医療機関等の送迎を行う高齢者外出支援サービス事業である。75歳以上の非課税世帯高齢者で移動支援者がいない方等に対し、タクシー初乗り料金を助成する高齢者タクシー利用金助成事業を実施している。